



Cisco DNA Spaces を使ってみる

この章では、Cisco Digital Network Architecture (DNA) Spaces の概要、その機能、プロセスフロー、ライセンスパッケージ、および Cisco DNA Spaces のシステム要件について説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco Spaces の概要 \(1 ページ\)](#)
- [ログイン \(2 ページ\)](#)
- [Cisco Spaces での操作開始 \(2 ページ\)](#)
- [オンボードワークフロー \(3 ページ\)](#)
- [Cisco Spaces : コネクタ 3.0 \(4 ページ\)](#)
- [Cisco Spaces アイドルタイムアウト \(4 ページ\)](#)
- [Cisco Spaces Federal サポートに連絡する \(4 ページ\)](#)
- [Cisco Spaces マニュアル \(5 ページ\)](#)

Cisco Spaces の概要

Cisco Spaces は、物理的なビジネス拠点にいる訪問者を把握し、訪問者をつながり関与することを可能にするマルチチャネル エンゲージメント プラットフォームです。

Cisco Spaces は、顧客が大規模なビジネス成果を達成できるようにする、業界で最も拡張性のあるエンドツーエンドの屋内ロケーション サービス クラウド プラットフォームです。包括的なサービススイートにより、すべてのロケーションベースのニーズに向けた強力なソリューションを提供します。

Cisco Spaces また、施設内の資産を監視および管理するためのソリューションも提供します。

次のようなさまざまな業種 (分野) が対象です。

- 小売
- manufacturing
- サービス業
- ヘルスケア

- 教育 (Education)
- 金融サービス
- 企業ワークスペースなど。

ログイン

Cisco Spaces ユーザーとして、既存のアカウントログイン情報を使用して Cisco Spaces にログインできます。Cisco Spaces にログインするためのドメイン固有の URL は <https://spaces-gov.cisco/> です。

Cisco Spaces での操作開始

Cisco Spaces の操作を開始する前に、[システム要件](#) に記載されている [前提条件](#) を満たしていることを確認してください。



- (注) 最初に、Cisco Spaces サポートチームに連絡して Cisco Spaces アカウントを作成する必要があります。電子メールで Cisco Spaces アカウントをアクティブ化するための招待状を受け取ります。[Accept Activate] ボタンをクリックし、表示されるウィンドウでログイン情報を構成し、[Activate Account] をクリックします。現在 Cisco Spaces にログインしています。ダッシュボード管理者であれば、他の Cisco Spaces ユーザーを招待できます。

Cisco Spaces の使用を開始するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Cisco Spaces にログインします。

- (注)
Cisco Spaces のシングルサインオンを有効にできます。

ステップ 2 ワイヤレスネットワークに接続し、Cisco Spaces ダッシュボードの **[Setup]** セクションの手順を参照して、Cisco Spaces のワイヤレスネットワークを設定します。

セットアップ手順は、このガイドの次のセクションでも説明しています。

- **Meraki** : Cisco Meraki ネットワークの設定については、「[Cisco Spaces を使用するための Cisco Meraki の設定](#)」を参照してください。
- **Cisco Unified Wireless Network と Cisco CMX** : Cisco Spaces を Cisco AireOS コントローラに Cisco CMX を介して接続するには、「[Cisco CMX を介して Cisco DNA Spaces をシスコ ワイヤレス コントローラに接続する](#)」を参照してください。

- Cisco AireOS ワイヤレスコントローラまたは Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ (Cisco CMX なし)。

(注)

シスコワイヤレスコントローラの直接接続方式による接続は、小規模な展開でのみ推奨されます。すべての大規模な実稼働展開では、Cisco Spaces : コネクタ が必要です。

- シスコ ワイヤレス コントローラ **Direct Connect** を使用 : Wireless Controller Direct Connect を使用して Cisco Spaces とシスコワイヤレスコントローラを設定するには、「[WLC 直接接続または Cisco DNA Spaces コネクタを使用した、Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラまたはシスコ ワイヤレス コントローラの Cisco DNA Spaces への接続](#)」セクションを参照してください。

(注)

Cisco Spaces はユニバーサルアカウントを提供しており、Cisco Spaces を複数のワイヤレスネットワークに接続できます。

- ステップ 3** チームメンバーを追加し、ロールと権限を割り当てます。Cisco Spaces ユーザーの追加の詳細については、「[Cisco Spaces ユーザーの管理](#)」を参照してください。
- ステップ 4** ワイヤレスネットワークで定義されているロケーション階層を Cisco Spaces にインポートします。ロケーション階層の設定に関する詳細については、「[ロケーション階層の概要](#)」のセクションを参照してください。
- ステップ 5** [**Monitor**] セクションを使用して、Cisco Spaces ドメインとアプリケーションを監視します。

オンボードワークフロー

以下の手順に従って、Cisco Spaces にログインします。

始める前に

FRMOD オンボーディングプロセスを完了し、FRMOD のログイン情報を用意していることを推奨します。正常なオンボーディングエクスペリエンスを得るには、ドメインを設定して、組織固有のアイデンティティプロバイダー (IDP) を使用します。

手順

- ステップ 1** FRMOD オンボーディングプロセスを完了します。
- ステップ 2** IDP を使用し、ドメインを設定します。
- たとえば、シスコでは、実稼働オンボーディングには frmod-cisco ドメインが使用され、ステージング環境には fedmod-cisco ドメインが使用されます。
- ステップ 3** 組織の電子メールアドレスを使用して、Cisco Spaces ダッシュボードおよび管理者管理アクセスへの招待を要求します。

ステップ4 `frmod-company.com` の電子メールアドレスを使用し、アクティベーション手順を実行します。

ステップ5 同じ `frmod-company.com` のログイン情報を使用して Cisco Spaces にログインします。

次のタスク

Cisco Spaces : コネクタ 3.0

Cisco Spaces : コネクタ (このドキュメントで以降は単にコネクタと表記) は、シスコワイヤレスコントローラやデータ用のスイッチなどのさまざまなネットワークデバイスに接続する複数のサービスを効率的に管理する機能を備えた完全に再設計されたバージョンのコネクタです。コネクタプラットフォームを使用すると、クラウドに新しいサービスを簡単に追加/削除できます。クラウドからのデバッグ、ログのアップロード、および再起動機能により、高度なトラブルシューティングが可能になります。コネクタは、CPU、メモリ、接続、およびアップ/ダウンステータスを含む各サービスの詳細なメトリックも提供します。

コネクタは Cisco Spaces の次世代コネクタであり、拡張されたユーザーエクスペリエンス、複数のサービスをサポートするアーキテクチャ、シンプルさ、モジュール性、シームレスなアップグレード、およびハイアベイラビリティを提供します。コネクタは、アクティブ/アクティブ高可用性セットアップをサポートします。コネクタ 2.x の以前のリリースとは異なり、高可用性ペアを具体的に設定および監視できます。すべてのサービスとデバイス構成はコネクタレベルで管理されるため、高可用性と簡単にペアリングできます。

コネクタとデバイスのステータスも、各インスタンスからコネクタレベルで集計されるため、簡単に監視できます。コネクタは、高可用性ペアの各インスタンスに完全な可視性を提供します。各インスタンスでのサービスの実行状況、アップグレードステータスなどを表示できます。サービスの再起動など、特定のインスタンスでアクションを実行することもできます。

Cisco Spaces アイドルタイムアウト

Cisco Spaces ダッシュボードにログインしているユーザーが操作しないでいられるのは一定時間だけです。15分間非アクティブな場合、そのユーザーはダッシュボードから自動的にログアウトされます。アイドルタイムアウトの5分前に通知が表示され、Cisco Spaces アプリケーションが開いているブラウザウィンドウのタイトルが `INACTIVE: You will be logged out in 5 mins` に変わります。対応するウィンドウで実行されたアクションは、ユーザーのセッションを拡張します。


Cisco Spaces Federal サポートに連絡する

Cisco Spaces Federal サポートに連絡するには、Support Case Manager を使用してケースを作成する必要があります。

サポートケースを作成するには、次の手順に従います。

手順

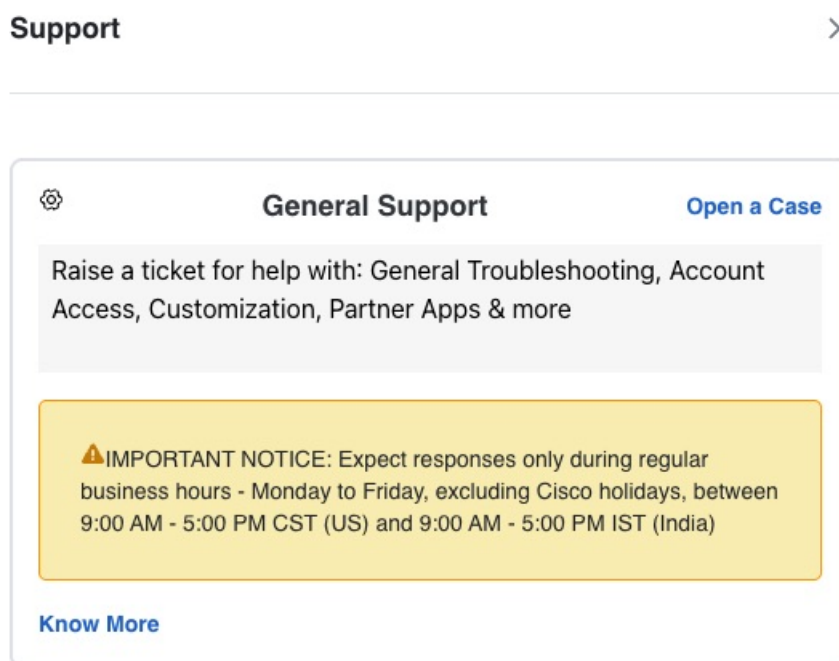
ステップ 1 Cisco Spaces にログインします。

ステップ 2 [Home] ページで、右上に表示される  ([Support]) アイコンをクリックします。

ステップ 3 [Support] をクリックします。[Support] スライドインペインが表示されます。

ステップ 4 [General Support] セクションで、[Open a Case] をクリックして、SCMを使用してケースを発生させます。

図 1: 一般サポートオプション



Cisco Spaces マニュアル

Cisco Spaces の右上に表示される [Cisco Spaces Support] アイコン () を使用して、設定ガイドやリリースノートを含む Cisco Spaces ダッシュボードのマニュアルにアクセスできます。

次のドキュメントサポートリソースにアクセスしてください。

- ヘルプセンター
- マニュアル

- サポートを受ける
- 最新のリリースノート
- リリースノートの履歴

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。